

総合評価結果報告書

施設の名称	静岡市井川高齢者生活福祉センター		
課名	高齢者福祉課		
指定管理者名	社会福祉法人 静岡市社会福祉協議会		
指定期間	平成30年4月1日 ～ 令和5年3月31日		
評価委員会 開催年月日	令和4年6月6日（月）		
評価委員 ※（ ）内は職名 等を記載してく ださい。	①委員長 大畑 綾子（高齢者福祉課長） ②委員 内田 全城（常葉大学 健康科学部 静岡理学療法学科 准教授） ③ “ 伊藤 富代子（葵区民生委員・児童委員協議会 副会長） ④ “ 平林 則彦（介護保険課長） ⑤ “ 繁田 昌宏（地域包括ケア推進本部次長）		
評価点 (各委員平均点)	90.8点	評価	A・B・C・D・E
評価結果詳細	別紙「総合評価結果総括表」のとおり		
総合評価結果を踏 まえての施設所管 課としての意見	地域住民に向けアンケートを実施し地域ニーズの把握に努め、 継続的に実施している等、地域貢献に努めている点が高く評価で きる。 住民ボランティアの活用、こども園との交流、交番や消防によ る講座等、コロナ禍においても地域交流を行えている点は高く評 価できる。 今後も地域住民との交流の機会を積極的に持ち、地域貢献等の 地道な取り組みが期待できる。		

総合評価結果総括表

施設の名 称 [静岡市井川高齢者生活福祉センター] 課名 [高齢者福祉課]
 指定管理者名 [社会福祉法人 静岡市社会福祉協議会]

	A 評価 委員	B 評価 委員	C 評価 委員	D 評価 委員	E 評価 委員	平均 点
1 履行状況の確認 【配点50点】						
(ア) 事業の円滑な実施 (15点)	12	12	15	12	12	12.6
(イ) 適正な人員配置 (10点)	8	8	10	10	8	8.8
(ウ) 安心・安全を最優先した施設の維持管理 (15点)	14	15	15	12	12	13.6
(エ) 庶務事務 (10点)	8	10	8	8	8	8.4
小 計	42	45	48	42	40	43.4
2 指定管理者の創意工夫 【配点15点】						
(ア) 指定管理者による事業の提案と実施 (10点)	10	10	10	10	10	10
(イ) 福祉サービスの実施 (5点)	5	5	5	5	4	4.8
小 計	15	15	15	15	14	14.8
3 市民（利用者）のサービスの向上 【配点15点】						
(ア) 利用者の満足度調査が実施されている。(5点)	5	5	5	5	5	5
(イ) 利用者満足の向上に努めている。(5点)	5	4	5	5	5	4.8
(ウ) 利用者等からの要望、苦情への対応がされている。(5点)	4	5	5	5	5	4.8
小 計	14	14	15	15	15	14.6
4 施設固有の評価項目 【配点20点】						
(ア) 介護保険サービス事業 (5点)	5	5	5	5	5	5
(イ) 居住機能事業 (5点)	3	3	3	3	3	3
(ウ) 地域交流事業 (5点)	5	5	5	5	5	5
(エ) 事業の周知等、利用者増へ向けた取り組み (5点)	5	5	5	5	5	5
小 計	18	18	18	18	18	18
合 計	89	92	96	90	87	90.8

※ 評価委員名は記載しない

※ 平均点は、小数点以下第2位を四捨五入する。

各評価委員の所見のまとめ（※各評価委員の所見をそのまま記載してください。）

【A評価委員】

地域住民に向けアンケートを実施し、意見・要望を聞き取り、日用品・衣料品の「とらや」の出張販売を実現させたのは、素晴らしい。

地元美容師による美容ボランティアの定期的な実施など、地域ニーズを捉え事業化しているところが、地域福祉を理念とする社会福祉協議会の強みであり、とても良い。

【B評価委員】

満足度調査結果の分析、活用の業務展開が明確であると良い。

利用者からの相談について対応する時、結果の記録があると良い。

個人から職員全体への教育効果を促通するためのしくみや、学習効果を図る指標があると良い。

【C評価委員】

市街地ではむずかしい地域の交流がなされていて良い。

アンケート結果について、地域住民の中には運営について「やや不満」があるが、何が不満なのかははっきりさせて対処してほしい。

限られた地域・人口の中での事業は難しいと思う。しかしこれからのますますの高齢化を考えると、なくてはならない事業所だと考える。

住んでいる人達が少しでも便利なことにふれられるよう（例えばとらやさん）努力してほしい。

【D評価委員】

コロナ禍においてもボランティア受入、地域交流を縮小しながらも行っている点は高く評価できる。

居住機能事業の周知を行い、ニーズの掘り起こしをして、更に住みやすい地域にしていきたい。

【E評価委員】

地域ニーズの把握に努め、訪問販売の実施につなげた。

サービスの利用促進や周知だけでなく、地域ニーズを把握し、訪問販売の開始につなげるなど、地域貢献に努めている点が評価できる。

評価委員会としての意見

地域住民に向けアンケートを実施し地域ニーズの把握に努め、継続的に実施している等、地域貢献に努めている点が高く評価できる。

また、住民ボランティアの活用、こども園との交流、交番や消防による講座等、コロナ禍においても地域交流を行えている点は高く評価できる。

限られた地域・人口の中での事業は難しいが、周知し、ニーズの掘り起こしをして、更に住みやすい地域にして欲しい。